

第6節 保健体育科学習指導案

「空手道の歴史」授業導入例

平成〇〇年〇月〇日（〇曜日）
 〇年〇組〇名 〇組〇名 計〇名
 授業者 〇〇

1 単元名 空手道

2 本時の目標（1時間目／〇時間中）

- (1) 空手道に関心を持ち、歴史や特性、礼法などを理解させる。
- (2) 授業の進め方や約束事項を確認し、生徒が見通しを立てて学習できるようにする。

	主な学習活動・内容・発問等	指導上の留意点	評価方法・評価規準
導入 15分	1 出席確認、健康観察 2 アンケート調査 (空手道の意識調査) 3 単元の流れについて説明	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな声で返事をさせる ・真剣に、自分の意見をしっかりと書かせる ・単元全体の流れを把握させ理解させる 	
展開 30分	4 本時の学習内容の確認 5 空手道の歴史を学ぼう (礼・節も含む) 6 ワークシート記入 7 形競技の映像視聴	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ、空手道を学習するのか意義とねらいを理解させる ・資料を活用し、効率よく生徒の興味・関心が引き出されるよう説明を工夫する ・わからないところは、資料を見るよう促す ・映像を視聴し、空手道のイメージを掴ませる 	空手道の歴史を知り、空手道が沖縄の伝統文化であることを理解できたか ○ワークシートで確認 【知識・理解】
まとめ 5分	8 学習カードの記入 9 次時の説明 ①礼法(立礼、座礼) ②立ち方 ③突き ④受け	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の授業の振り返りをさせながらキーポイントとなる言葉を書かせる (沖縄が発祥、左座右起等) 	空手道の歴史をきちんと理解できたか ○ワークシートで確認 【知識・理解】

※授業の実施にあたっては、「指導書 第1章 空手道の歴史・特性・ねらい」の「第1節 空手道の歴史」を参照ください。

3 空手道ワークシート(歴史)

空手道の歴史

()年()組()番 氏名()

(1) 琉球の歴史

12世紀頃、各地の集団をまとめる「(**按司**)」が出現し「グスク」が形成された。その後、浦添を中心とする「(**中山**)」、今帰仁を中心とする「(**北山**)」、糸満の島尻大里等を中心とする「(**南山**)」の「三山(さんざん)」と呼ばれる三大勢力が形成された。

1372年、中山の察度王が初めて(**中国(明)**)に進貢。これ以降、諸外国との活発な交易が開始され繁栄していった(大交易時代)。

1429年、尚巴志が三山を統一し、首里城を中心とする「(**琉球王国**)」が誕生した。

(2) 「空手」の発生

「空手」の発生・形成過程については、現在の歴史考察上、次の3点から論じられている。

- ・琉球に古来よりあったとされる武術(**手**)への14世紀頃から琉入した(**中国拳法**)の影響。
- ・中国との交流開始以降に琉入した(**中国拳法**)を琉球の歴史的・文化的風土の過程で形成。
- ・二度の武器などに関する(**政策**)などの様々な時代の影響。

「手」は中国拳法の影響を受けて、長い年月をかけて門外不出・一子相伝の秘技として、先達により体系化され、当時は「(**唐手(トーディー)**)」と呼称された。

(3) 1800年代末期頃まで、「唐手(トーディー)」は、その形(かた)の特色、教習体系、伝承地名にちなんで、以下の3つに分類される。

- ①(**首里**)手 →首里城を中心に首里士族の間で発達した。
- ②(**那覇**)手 →那覇西町を中心に久米・泉崎・西付近で行われた。
- ③(**泊**)手 →泊方面で広く行われた。

(4) 学校体育への導入と大衆化

1905(明治38)年、(**糸洲安恒**)は、「(**唐手(からて)**)」として県立中学校に初めて正課体育に導入した。これ以降、運動会等で唐手・古武術が演武されるようになり大衆化が図られた。

(5) 昭和初期の「流派」の命名

剛柔流	流祖名(宮城 長順)	小林流	流祖名(知花 朝信)
松林流	流祖名(長嶺 将真)	上地流	流祖名(上地 完文)
松涛館流	流祖名(富名腰(船越)義珍)	糸東流	流祖名(摩文仁 賢和)
和道流	流祖名(大塚 博紀)	劉衛流	流祖名(仲井間 憲孝)

(6) 「空手」表記について

1936(昭和11)年(**10**)月(**25**)日「唐手座談会」(琉球新報社主催)が那覇で開かれ、正式に「唐手(からて)」を「(**空手(からて)**)」に改めた。

(7) 「普及形Ⅰ・Ⅱ」の創作と学校体育への導入

1941(昭和16)年、(**長嶺 将真**)が「普及形Ⅰ」、(**宮城 長順**)が「普及形Ⅱ」を創作した。この二つの形は、現在、本県学校体育で広く普及し行われている。

4 空手道アンケート(例)

(1) 体育の授業であなたが好きな単元を、以下から1つ選び、番号を○で囲んで下さい。

- ①陸上 ②水泳 ③器械運動(マット運動・跳び箱等) ④球技
⑤武道 ⑥ダンス ⑦体づくり運動 ⑧体育理論 ⑨その他()

(2) 武道と聞いて、あなたが、初めに連想する武道を、以下から1つ選び、番号を○で囲んで下さい。

- ①柔道 ②剣道 ③相撲 ④空手道 ⑤沖縄角力 ⑥なぎなた
⑦弓道 ⑧少林寺拳法 ⑨合気道 ⑩銃剣道 ⑪その他()

(3) あなたは、武道を経験したことがありますか。(ある ない)

(4) 上記(3)で(ある)と答えた生徒のみ答えて下さい。あなたが経験したことの武道を、以下から選び、番号を○で囲んで下さい。(複数可)

- ①柔道 ②剣道 ③相撲 ④空手道 ⑤沖縄角力 ⑥なぎなた
⑦弓道 ⑧少林寺拳法 ⑨合気道 ⑩銃剣道 ⑪その他()

(5) 空手道について質問します。空手道が発祥した場所はどこだと思いますか。以下から1つ選び、番号を○で囲んで下さい。

- ①東京 ②北京(中国) ③ニューヨーク(米国) ④沖縄 ⑤ローマ(イタリア)

(6) 空手道のイメージについて、以下に自由に記入して下さい。(例・「強い」等)

(7) 中学校体育では、武道を必ず授業で行なうことになっています。なぜ武道の授業を行うと思いますか。あなたの考えを以下に自由に記入して下さい。

(8) 空手道の授業において、あなたが「不安に感じること」があれば、以下に自由に記入して下さい。

(9) 空手道の授業において、あなたが「学びたいこと」があれば、以下に自由に記入して下さい。

以上です。協力ありがとうございました。

第7節 体育祭における空手道集団演武例

1 演武内容

①入場
②立礼(又は座礼)
③その場基本動作(正拳突き・四股立ち正拳突き・前蹴り・受け)各10本ずつ気合い
④約束三本組手
⑤形演武(普及形Ⅰ・普及形Ⅱ)
⑥立礼(又は座礼)
⑦退場

2 授業計画(15時間)

時 間	主 な 内 容	留 意 点
1	○オリエンテーション(空手道の歴史、大会、体育祭ビデオ等視聴) ○立礼・座礼・立ち方・拳の握り方・声の出し方・正拳突き(平行立ち・四股立ち)	・声(気合い)は大きく出す
2～3	○その場での突き・前蹴り・受け(上段・中段・下段) ○普及形Ⅰ(号令をかけて順番を覚える)気合いも入れる	・立ち方は平行立ち、四股立ちで行う ・立ち方、演武線に気をつける
4～5	○移動での突き・前蹴り・受け(上段・中段・下段) ○普及形Ⅰ(力強さ・スピードを意識)号令に合わせる	・立ち方は前屈立ち、基立ちで行う ・運足、引き手を素早く行う
6	○普及形Ⅱ(号令をかけて順番を覚える)気合いも入れる	・立ち方、演武線に気をつける
7～9	○普及形Ⅱ(力強さ・スピードを意識)気合いも入れる	・運足、引き手を素早く行う
10	○約束三本組手(一本ずつ区切って練習・繋げていく)	・立ち方、突く部位、受ける高さを意識する ・ゆっくり→徐々に早く力強く行う
11～12	○約束三本組手(三本目に気合い)、普及形Ⅰ・Ⅱ	・力強く、全体を合わせる
13～15	○基本動作、約束三本組手、普及形Ⅰ・Ⅱ(通し練習)	・力強く、全体を合わせる ・基本動作は一本ずつ気合い ・全体の流れを確認

3 合同練習計画(5時間)

時 間	主 な 内 容	留 意 点
1	○入退場・隊形・立ち位置の確認	全体での共通確認事項
2	○基本動作・約束三本組手・普及形Ⅰ・Ⅱ(通し練習)	全体の動きを合わせる
3	○入退場・基本動作・約束三本組手・普及形Ⅰ・Ⅱ	通し練習・全体の流れの確認
4	○リハーサル(本番同様に行う)	元気よく大きな声で気迫を出す
5	○リハーサルの反省を基に最終確認	通し練習・全体の流れの確認

4 その他

- ・演武隊形は、人数や場の設定に応じて工夫する。
- ・入場は一斉入場や学年ごと等、演武する順番や内容に応じて工夫する。
- ・空手道演武はエイサーや踊り(ダンスや琉舞等)と演目を連続して一つの集団演武として行ったり、エイサーと一緒に沖縄の音楽(エイサー曲等)に合わせて行う方法もある。
- ・全体指揮は生徒に行わせたり、号令、太鼓等で行う方法もある。

(体育祭写真)



